



本堀 成人さん 「こないしん」両手に

今年も甘藷出荷が始まりました！

***** 目 次 *****

- P 2 新米イクヒカリキャンペーン・甘藷最盛期迎える
- P 3 J A 肝付吾平町青年部美里会 農産物消費拡大
- P 4 作物ハイライト・セリ市
- P 5 期待の抑制馬鈴薯・和牛登録審査
- P 7 J A マスコットキャラクタープロジェクトチーム始動
- P 9 J A 肝付吾平町「コロナに負けるな！」利用者プレゼントキャンペーン



新しい夢 **どんだん**
育てよう明日を
JAグループ鹿児島



肝付吾平町

<http://www.ja-k-aira.jp/>





新米イクヒカリキャンペーン

J Aでは、8月5日から4日間にかけて、Aコープ肝付あいら店・鹿屋市内の店舗（マックスバリュ・サンキュー店）にて、新米イクヒカリ（200袋／5Kg）の販売促進を行いました。

新米イクヒカリを購入していただいた方には、ご飯のお供にぴったりの地元産黒豚みそをプレゼントしました。消費者より「あったかいご飯は、美味しいですが、イクヒカリは冷めても、とっても美味しいので大好きです。」との声を聴くことができました。

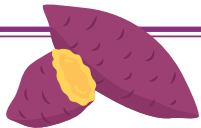
今年は、刈取り時期に長雨が続き9月中旬まで刈取りが行われました。心配された収量は例年になく増収となり、ライスセンターでも連日、乾燥・糲攪り・検査等が行われました。一等米比率が50.0%・二等米45.7%・三等米4.2%規格外0.1%と航空防除地区外のカメムシ被害による部分着色粒があり、気象被害による日照不足で未熟粒・心白粒が見られました。

今年は15,000俵／30kgを出荷する予定でしたが、約20,000俵の出荷ができました。

イクヒカリは、「幾久しく光り輝く米」ということで消費者からも非常に人気の商品です。J Aでは、平成22年からイクヒカリへ全面転換し、環境に優しい農産物、安心・安全で美味しい米づくりに取り組んでいます。



Aコープ店にてイクヒカリ販促



甘藷最盛期迎える

加工・青果・焼酎用甘藷は、近年の基腐病の影響で、コガネセンガン（焼酎用）のみの作付となり、生産者3名で1.25haの作付面積となりました。9月7日より収穫が始まっています。

今後も被害拡大が懸念されるなか、関係機関と連携を図り、次年度対策及び基腐病対策を進めてまいります。



本堀成人さん:こないしん収穫

でん粉甘藷は、生産者26名（34ha）となりました。出荷先であるJ A鹿児島もつき西南澱粉工場の操業を早め、9月18日から試験操業を開始し、21日から本格的に操業が始まりました（11月30日終了）。増収対策や病気対策として新品種「こないしん」への品種転換を図りながら、安定出荷に取り組んでまいります。

本堀成人さんは「こないしん」を2.8ha作付けされました。基腐病の終息が見えないなか、昨年より「こないしん」への品種転換を行い、今年で2年目となります。収量・品質ともに昨年を上回る見通しで、「こないしんのおかげで助かった、来年からも一生懸命作っでな」と話していただきました。

J A 肝付吾平町青年部美里会農産物消費拡大



大園和哉部長が届けた農畜産物

J A 肝付吾平町青年部美里会は、部員 22 名で活動を行っています。

毎年、家族会を開催していますが、自分自身と周りの人を守るために、今年は新型コロナウイルス感染症予防対策により、楽しみにしていた家族会が中止となりました。

そのようななか、新型コロナウイルスの影響で農畜産物の消費が減少しているなか、地元の農畜産物の消費拡大につなげようと、部員に地元で採れた農畜産物（牛肉・豚肉・米・ごぼう・焼酎）を届けることになりました。

大園和哉部長は、「地元産の農畜産物を家族で食べて、地域の農業を青年部で盛り上げていきましょう。」と青年部美里会の部員宅へ届けました。

受け取った部員は、「家族で楽しく味わいたい」「地元の食材を見直すいい機会になる」「吾平町にも素晴らしい農畜産物があることが実感できた」と好評でした。



吾平町内会より感謝状贈呈

吾平町地区町内会連絡協議会が8月20日（金）吾平総合支所2階会議室で開催されました。J Aが町内会へ助成を始めてから今年で15年が経ちました。

前田昭紀会長は「永年に渡りJ Aは吾平町の地域活性化に多大なる貢献をしていただきました。その厚意に対し感謝状を贈ります。」とあいさつをいただきました。

今吉幸夫組合長は「私たちは地域に貢献し信頼されるJ Aをめざし、吾平町の地域活性化にこれからも役職員一体となり取り組んでまいります」とあいさつをしました。



感謝状贈呈



必見作物ハイライト



秋サラダごぼう、新ごぼう

秋サラダごぼうは、2名の生産者で0.7haの作付面積で、9月1日から播種を行い、順調に生育しています。収穫は12月中旬頃から予定しています。

新ごぼうは、9名の生産者で4.48haの作付面積で、8月の長雨の影響で9月3日より播種開始となりました。収穫は来年1月から4月までを予定しています。関係機関と連携を図りながら、消費者に安心安全な美味しいごぼうが届くよう栽培管理に努めてまいります。



ソラマメ

9月21日に栽培基準説明会が開催されました。今年も、栽培基準にのっとり安心・安全で、美味しいソラマメを消費者に届けられるよう、関係機関と連携を図ってまいります。なお、10月下旬より播種が始まる予定です。

秋かぼちゃ

長雨の影響による、播種作業への影響を心配しましたが、今年も8月中旬より播種が始まり、順調に生育しています。

今後も、台風等の襲来が予想されることから、関係機関・生産者一体となり適正な肥培管理を図り、美味しい吾平かぼちゃの栽培に努めてまいります。



ピーマン

定植が終わり、誘引～収穫と一部出荷が随時始まっています。今年は天候に恵まれ順調に生育しており、今後も適期管理に努めます。また、環境保全型農業の一環である天敵防除もスタートしていきます。本年度も「安心・安全」で良質なピーマンの収穫に励みます。

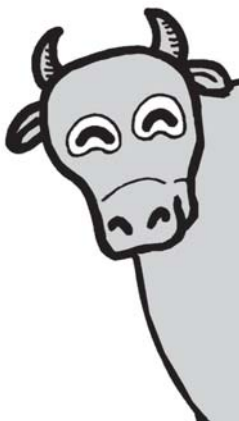


なす

8月7日より定植が始まりました。品種は、昨年と同様PC筑陽を定植しました。ホルモン処理の手間がなく、労力軽減になっています。出荷は、昨年とほぼ同じ9月下旬から始まりました。価格も平年並みで安定しています。

本年度も生産者6名、面積1.6haで10a当たり13tの目標達成に向けて、生産者は毎日の管理に頑張っています。

◎牛は農家の宝なり



<単位：円>

8月 子牛セリ	性別	頭数	平均体重	最高	最低	平均価格
	めす	26	279	751,000	468,000	610,577
	去勢	36	308	982,000	521,000	706,528
	合計	62	295	982,000	468,000	666,290
9月 子牛セリ	性別	頭数	平均体重	最高	最低	平均価格
	めす	41	271	901,000	358,000	587,098
	去勢	28	312	1,040,000	400,000	688,964
	合計	69	288	1,040,000	358,000	628,435

毎月、子牛せり市が開催される週の平日の5日間、母牛用飼料と一般ふすまの特売実施中！

期待の抑制馬鈴薯(秋馬鈴薯)

秋馬鈴薯は、くみあい食品（鹿屋工場）と、本年度からトミイチ九州株式会社向けに生産者6名、面積1.2ha（くみあい食品1名40a・トミイチ九州5名80a）の作付面積となりました。品種については、くみあい食品「北海黄金」、トミイチ九州「アンドーバー」となり、9月9日から9月23日にかけて植付けを行いました。くみあい食品向けは今年で2年目となり、鹿児島県内5JA（JA肝付吾平町・JA鹿児島きもつき・JAそお鹿児島・JAいぶすき・JA南さつま）で約5ha作付されています。今後は、病害虫対策、特に疫病対策を徹底し、ドローン散布等を活用しながら、経済連・くみあい食品



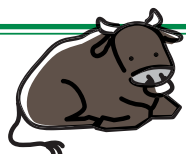
太田直也さん 秋馬鈴薯の植え付け作業

担当者・県・市と連携を図り、栽培管理に努めてまいります。

収穫は1月上旬以降を予定しています。

秋馬鈴薯の3つのマル

- ① イモのでんぷん価が高い
- ② ホクホク感が増す
- ③ 長期保存ができる



第2期 和牛登録審査

8月20日（金）、和牛登録審査が行われました。和牛登録審査は14ヵ月齢から30ヵ月齢の牛が対象で、今回は審査場20頭、臨検23頭の審査を行いました。審査は



技術員による審査中

まず体高・胸囲・胸深・尻長・かん幅などを測尺し、栄養度（牛の栄養状態）の判定を行い、牛の発育状態を確認します。そして、審査標準に沿って、各審査項目（体積・均称・品位・資質・乳徴など）の評価を行い、点数化していきます。

今回の結果、いずれも発育良好で素晴らしい牛ばかりでした。今後も畜産関係機関と連携し、和牛登録と改良・育成技術の向上推進を図ります。

お知らせ

第44回美里吾平農業祭中止

開催を予定していました第44回美里吾平農業祭につきましては、新型コロナウイルス感染拡大が懸念される状況を踏まえ、ご来場者などの健康・安全面を考慮した結果、中止となりましたのでお知らせいたします。

年に1回は健康診断
を受診しましょう！

巡回健康診断実施



9月28日（火）～10月1日（金）の4日間、巡回健康診断が実施され、約300名の方が受診されました。昨年度から巡回健康診断は「予約制」に代わりました。新型コロナウイルス感染予防対策として、密集を回避するだけでなく、待ち時間の短縮も期待され、受診がしやすくなりました。



コロナウイルス予防対策をしながらの健診

J Aでは、組合員・地域住民の皆さまの暮らしと健康を守るお手伝いをさせていただいています。今後も巡回健康診断や人間ドックを受診され、病気の予防や早期発見、早期治療で健康な毎日をお過ごしください。

鹿児島県厚生連健康管理センターの人間ドックにつきましては、共済課までお気軽にお問い合わせください。

問合せ先：共済課 58-6537



国内で消費する食べ物は、できるだけ国内で生産する。この考え方を「国消国産」と言います。

J Aグループは、「国」民が必要とし「消」費する食料は、できるだけその「国」で生「産」する、「国消国産」という考え方を提起しました。私たちや未来の子供たちの、食の安全を守ることにつながります。日本の食料自給率は38%です。食料の5割を輸入に頼っています。その大きな原因は、農家の減少や高齢化など生産基盤の弱体化です。そして、自然災害が多発しています。

日本の「食」は多くのリスクに直面しています。みんなで進めよう国消国産。

「国消国産ってなんだか難しそう」…そう思うかもしれません。まずは国消国産について考えてみましょう。



秋の全国交通安全運動立哨活動



秋の全国交通安全運動期間（9/21～9/30）の運動として、鹿屋地区安全運転者管理協議会・鹿屋市交通安全協会等との合同で9月22日（水）・同時時間帯の一斉立哨活動が行われました。

交通安全立哨のキャッチフレーズ『「コロナ0」「交通事故0」をめざした567人（コロナ）交通立哨』をJA役職員約30名で、ソーシャルディスタンスによる交通立哨活動をAコープ肝付あいらい店前で行いました。JA肝付吾平町はこれからも「地域に貢献し信頼されるJAをめざします。」を基本理念に地域貢献活動を実施してまいります。



「コロナ0」「交通事故0」をめざして

JAマスコットキャラクタープロジェクトチーム始動

7月26日（月）JAマスコットキャラクターチームが結成されました。

多くの組合員・利用者にJAのことを知ってほしい、何よりJAを身近に感じてほしいとの思いから、このプロジェクトチームができました。

メンバーは中堅職員5名でマスコットキャラクターの応募を8月17日（火）～9月17日（金）まで行いました。町内の各小学校・中学校、一般応募合わせて344名の方より応募いただきました。予想を大きく上回る応募をいただき、ご協力ありがとうございました。

11月のふれあい訪問日に合わせて、当選者とJAマスコットキャラクターの発表を予定しています。

メンバー紹介



末次 慎也 室長



原之園 一樹 所長



西迫 和昭 主査



上吹越 拓也



飯ヶ谷 匠二

かぼちゃを美味しく食べよう！

かぼちゃを煮ると水っぽくなったりして上手に料理するのが苦手な人へ解決策を伝授（ご存知の方も多いかも…）

1. かぼちゃは砂糖を振りかけて煮るとホクホクに！

＊一口大に切ったかぼちゃを鍋に入れて砂糖を振りかけ3時間くらい置くと、砂糖の浸透圧でかぼちゃの水分が出てきます。後は水を足して、しょうゆ少々で味付けして、煮れば美味しいかぼちゃの煮物に！

2. 煎茶でかぼちゃを煮ると水っぽいかぼちゃが美味しい！

＊急須に残ったお茶でも十分です。かぼちゃを煮るとき、水の代わりに煎茶で煮るだけで甘みが引き出され、ほっくりとした煮上がりになります。（煎茶はヒタヒタで、多すぎると水っぽくなります）





9月1日から新しく営農企画課が新設されました。

農業者の高齢化や後継者不足等に生産基盤の脆弱化が懸念されるなか、農業者の所得増大と農業生産の拡大を図るため、営農企画課が新設されました。

《業務内容》

- * J A 産地づくり 10 年ビジョン等への取り組み
- * 営農指導体制整備の企画
- * 声を聴く運動総括（定例訪問先の経営指導）
- * 労働力確保支援・食の安心安全
- * 農業者の所得増大・農業生産の拡大



営農指導課長から
営農企画課長へ
中村 正一



営農指導課から
営農企画課へ
飯ヶ谷 匠二



9月1日付けで7名が異動しました。



内部監査室長から
燃料機械課長へ
中村 祐馬



燃料機械課長から
営農指導課長へ
中原 良幸



購買課主任から
内部監査室長へ
末次 慎也



企画管理課主任から
第2給油所長へ
原之園 一樹



第2給油所から
企画管理課へ
牧口 研一郎



9月から入組しました。よろしくお願いいたします。



共済課
浜崎 千早



Aコープレジ
中野 小百合



Aコープレジ
川原 秋子

J A 肝付吾平町经营理念

* 私たちは地域に貢献し
信頼される J A をめざし
ます

J A 肝付吾平町行動規範

1. 組合員に対し、誠心
誠意真心で応えよう
2. 地域住民とのふれあ
いを大切にしよう
3. 協同の精神で未来を
築こう

JA肝付吾平町 コロナに負けるな!利用者プレゼントキャンペーン

合計 250 名様に抽選で商品が当たる!

1、応募方法

J A 肝付吾平町の各事業所で、スタンプを3個以上貯めると応募できます。

購買・SS・オートパル・Aコープは2,000円(税込)以上お買い上げの方にスタンプをいたします。(各部署1個のみ)、10万円以上の定期貯金をされた方、共済の保障内容点検又はお見積りをされた方にスタンプいたします。応募券は各事業所に設置している応募箱に投函してください。

貯 金

共 済

購 買

給油所
(SS)オート
パル

Aコープ

2、応募期間

2021年10月1日(金)～10月31日(日)まで

A賞: 20本 黒牛・黒豚セット(スタンプ5個以上で)

B賞: 30本 イクヒカリ5Kg(スタンプ4個以上で)

C賞: 200本 ソムリエセット(スタンプ3個以上で)

A賞



B賞



C賞



購読
申込受付中
1,027円
(税込)

2022
家の光
人・地域が元気

12月号

- ★ 家計簿(日記付き)・わたしノート
- ★ 認知症予防に! とっておきの健康習慣
- ★ 塩分・甘さ控えめ 今どきおせち

楽しく・かしこく・未来をひらく……家の光
みんなの「いいね!」がきっと見つかる



十二月号の表紙を飾るのは、
歌手で箱根八里の半次郎を
歌っている!? 楽しみです。

問合先:企画管理課 58-6511

令和4年度農林水産関係一般予算概算要求 決定！

農水省は、8月31日に令和4年度予算の概算要求を決定しました。

農林水産関係の概算要求の総額は、前年度当初予算比16.4%増の2兆6,842億円となりました。主な概要は下図のとおりですが、生産基盤の強化や輸出拡大、「みどりの食料システム戦略」の推進、農地利用や農業者の確保に向けた施策などが柱となっています。

この概算要求に先立ち、私ども「JAグループ鹿児島・県農政連」は、7月7日～8日に中央会・各連役員及び生産者代表等で「令和4年度農畜産物対策に関する中央要請」を実施しました。私どもは特に、各品目の経営安定対策や生産基盤強化対策の予算確保をはじめ基腐病対策の充実やグリーン社会（みどりの食料システム戦略）の実現に向けた環境整備などを求めてきましたが、それぞれ予算規模の拡大や新規の事業が盛り込まれるなど、私どもの要請事項が概ね反映された内容となっています。

今後、本県「JAグループ・県農政連」は、例年、冬に行われる畜産、甘味資源作物対策の政策価格決定に合わせて、引き続き要請活動を行ってまいりますので、ご理解・ご協力をお願いします。

令和4年度農林水産予算一般概算要求の主な項目

対象品目	事業名	対策のポイント	概算要求額 (前年度予算対比)
共 通	強い農業づくり 総合支援交付金	生産・供給の基幹施設整備や、事業者と農家が連携した事業モデルの構築、みどりの食料システム関連の施設整備の支援	193億円 (51億円 UP!)
	みどりの食料システム 戦略実現技術 開発・実証事業	「みどりの食料システム戦略」の実現に向けて、スマート農業における優れた技術の横展開のための導入実証等の推進や気候変動といった新たな課題等に対応する研究開発等の推進	65億円 (新規)
	新規就農者育成 総合対策事業	現行の「農業次世代人材投資事業」などを改め、親元就農を含め新規就農の初期投資を支援する「新規就農者育成総合対策事業」を新設	236億円 (31億円 UP!)
畜 産	畜産・酪農経営安定対策	意欲のある生産者が経営の継続・発展に取組める環境を整備するため、牛マルキン等により畜産経営の安定を支援	2,297億円 (1億円 UP!)
	消費・安全対策交付金	豚熱・鳥インフルエンザ等の家畜伝染病等の発生予防・まん延防止等	28億円 (6億円 UP!)
野菜果樹 ・茶対策	持続的生産強化対策事業	野菜や果樹、花き、茶、薬用作物などで、農家の生産性・販売力の向上、地方公共団体の産地強化の取組みの支援	199億円 (30億円 UP!)
甘味資源 作物	甘味資源作物生産性向上事業	さとうきびやかんしょの生産性向上の取組み、サツマイモ基腐病等の病害対策の取組みの支援 (※ R2 年度まで補正予算で措置)	20億円 (新規)
	持続的畑作生産体系確立事業	地域の基幹作物の病害抑制と需要に応じた生産拡大の両立、労働負担の軽減、環境に配慮した生産体系の確立等の取組みの支援	21億円 (新規)
水 田	水田活用の直接支払交付金	麦、大豆や飼料用米などへの助成や産地交付金を措置 (※ R2 補正予算で措置された実需と結び付いた転作を手厚く支援する水田リノベーション事業含む)	3,320億円 (270億円 UP!)

※なお、今回は農水省から財務省へ概算要求された内容であり、事業の措置や予算が確定したわけではありません。今後、財務省との折衝を通じて、例年冬頃に来年度予算案が閣議決定されていく見通しです。

概算要求に関する詳細なデータは、下記の農水省 HP に記載されておりますので、ご参照ください。

(URL: <https://www.maff.go.jp/j/budget/r4yokyu.html>)



QRコードからも
みられるよ！

健康で長く仕事を続けるために！

腰痛対策は農家の必須課題！



腰が痛い農作業に！
中腰姿勢がラクになる
マッスルスーツ



農業における腰痛の原因は
「中腰での作業姿勢」です。
東京理科大学で開発された
「人工筋肉」の技術で中腰
姿勢の負担をしっかり軽減！

ダウンタウンの浜ちゃんの
CMで話題になった
「マッスルスーツ」です！

着る筋肉
マッスルスーツ

通常価格149,600円

特価 **136,000円** (税込)

問合先 購買課

TEL 58-5050

理事会だより

第九回理事会（八月二十七日）

- ① 県常例検査の回答について
- ② 上期随時監査の回答について
- ③ 一組員（同一人自身）に対する信用供与等の最高限度額について
- ④ 高額貸出金について
- ⑤ 組織機構の変更について

第十回理事会（九月三十日）

- ① 令和三年度上半期資産自己査定結果について
- ② 令和三年度上半期決算について



頭の体操 この達成感
クセになるかも。

	5					7	8	
2								1
		4	7		1			6
		3	6		5	2		
		8	9		4	3		
9			3		8	4		
1								2
	3	2					5	

8月号の解答

5	2	8	4	1	9	7	6	3
3	7	6	8	5	2	9	1	4
1	9	4	7	3	6	8	2	5
7	5	1	3	2	8	4	9	6
9	6	2	1	7	4	5	3	8
4	8	3	6	9	5	1	7	2
8	4	7	2	6	1	3	5	9
2	3	5	9	8	9	6	4	1
6	1	9	5	4	3	2	8	7

身近な健康情報

医者より養生

慢性肝疾患の原因にはウイルス日頃から健康を意識している方、最近増えてきますよね。健康番組などが毎日のように放送され、家で出来る、その場で出来る等の手軽な運動から取り組んだり、個々の健康志向が向上しているように感じるこの頃です。

そんな健康志向の方々が、家庭内で使用することが多い医療機器として血圧計があります。

血圧計の正しい測定方法は測定部分（上腕部分）が胸の高さ（心臓の高さ）で測ることが大切です。労作後やムリな姿勢で測定することは、誤差の要因となりますのでご注意ください。

また、最近耳にすることの多いパルスオキシメータ（酸素飽和度測定器）は器具を指にはめて測定します。測定原理は血液の色の濃さを光を当てて測定するため、爪にマニキュアを塗ったり、指先が冷えていると測定誤差が生じたりします。

家庭で使える医療器具は健康維持のために使用することが中心なので、習慣として毎日同じ時間、同じ場所で測定することが日々の変化に気付けるので上手に活用してご養生ください。

鹿児島厚生連病院

臨床工学技士 篠田 朋宏



10～12月の行事予定



日	月	火	水	木	金	土
	11/1 県技肉共進会	2 J A杯 G G 大会	3 文化の日	4 年金友の会員デー	5	6
7	8	9	10	11 年金友の会ゴルフ大会 年金友の会員デー ふれあい訪問日	12	13
14	15	16	17 ふれあい訪問日	18 年金友の会員デー 子牛せり市	19	20
21	22	23 勤労感謝の日	24	25 年金友の会員デー	26	27
28	29	30	31	12/1 年金友の会員デー	2	3
5	6	7	8	9 年金友の会員デー 地区別農機具大展示会	10	11
12	13	14	15	16 年金友の会員デー 子牛せり市	17	18



編集後記

日中は、まだまだ暑い日が続いていますが、朝晩は涼しくなり、日増しに秋の訪れを感じる季節となりました。
秋はスポーツの秋・食欲の秋・実りの秋と云われます。

J Aにおいても例年、農業祭や年金友の会グラウンドゴルフ大会等を開催し、組合員・地域住民の方々とふれあいや健康増進活動を行っています。

現在も、新型コロナウイルス感染症が依然として予断を許さない状況が続いていることから、各種行事・催しの中止又は延期の判断をさせていたでています。主旨をご理解のうえ、今後ともご理解・ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

10月に入り、本格的に甘藷・なす・ピーマン等の収穫・出荷が始まりました。季節の変わり目となり、体調を壊しやすくなってきました。健康管理には充分留意され、農作業等頑張ってください。